

平成二十五年度 未来の京都創造研究事業

研究だより

第6号

成果報告会

研究代表者と研究タイトル

①柴田 昌三 (京都大学大学院地球環境学堂・教授)

※当日は飯田義彦さん(京都大学大学院地球環境学舎・博士後期課程)が発表されました。

「市民生活における**自然環境共生**の知見と身近な生物相の実態評価」

②大室 悦賀 (京都産業大学経営学部・准教授)

「学生参加型ビジネスコンペを利用した**ソーシャル・ビジネス**の育成・普及にかかわる実証研究」

③森重 幸子 (京都大学大学院工学研究科・研究員)

「幹線道路に隣接する**細街路**の都市計画上の課題

― 『歴史細街路』の維持保全に向けて―

④吉田 満梨 (立命館大学経営学部・准教授)

「**和装関連市場**における新たなセグメントとその特性の分析」



この事業は、大学の若手研究者等と京都市の担当部署が協力しあって調査・研究を進めることで京都市の政策や事業に生かすことのできる、より実践的な研究成果の獲得を目指して、公益財団法人大学コンソーシアム京都市と共同で行っている事業です。
今年度の最終号となる研究だより第6号では、3月19日(水)に実施しました「成果報告会」と「交流会」の様子をお伝えします。

2014年3月19日(水) 18時〜20時20分 キャンパスプラザ京都

研究者、市民、学生、京都市職員など合わせて約70名が参加されました。

年度末の平日の夜にもかかわらず参加していただいた皆様、ありがとうございました。

2013年7月から実質9カ月の調査研究期間でしたが、各研究グループは精力的に取り組みました。

また京都市の各担当部署からは研究者へのデータ・情報提供、実務担当だからこそその助言や提案などをいただきました。市職員の声も研究成果に反



映させることで、学術的かつ実践的な成果を獲得できました。

各研究者には、その分野の専門ではない方にも理解してもらえるように説明していただきましたが、一人25分程度という限られた時間での発表だったため、詳細にお伝えすることができなかつたかもしれませんが、最終的な調査・研究成果をまとめた報告書は6月をめどに作成します。大学コンソーシアム京都のホームページでも公開しますので、楽しみにお待ちください。

交流会

研究テーマごとにテーブルでま
とまり、発表された内容に対する
感想や参加者自身の経験・意見な
どを述べていただきました。

研究代表者を取り囲むかたちで、
他大学の研究者、学生、市民、N
PO、企業、市の担当職員など合
わせて約40名が参加、各テーブル
ではざつくばらんな話し合いが進
み、大変に盛り上がりました。

この交流会の目的の一つが、普
段は知り合えない人たちと面識を
もってもらい今後の活動になんら
か活かしてもらおうことです。した
がって、ここで議論されたことか

編集後記

時が経つのは早いもので、ま
た1年が終わろうとしています。
それも3回目となりました。今年
度は4テーマを取り上げまし
た。例年のことですが、研究対
象がすべて異なるために苦労
が多かったものの、終わりを迎
え(少しだけ)ほっとしています。

しかしもっとできたのではない
かと考え、来年度にはもっと良
い成果が得られるようにしな
いと、と意を新たにしています。
各研究者を始め、市の各担当
者、アンケートやヒアリングに
協力していただいた皆様には
改めてお礼申し上げます。

最後の報告書作成・HP公
開までしっかりやります。来年
度に、またお会いしましょう!!

追伸

本事業の過去の研究結果や事
業概要を記載したパンフレット
を作成しました。こちらもご覧
ください。

http://www.consortium.or.jp/contents_detail.php?frmId=2856

ご意見・ご感想は、
以下の問い合わせ先まで、
お気軽にお寄せください。

公益財団法人
大学コンソーシアム京都
高等教育研究推進事業部
シンクタンク事業
TEL : 075-708-5803
FAX : 075-353-9101
E-mail :
mirainokyoto@consortium.or.jp

大学コンソーシアム京都 未来の京都 検索

ら結論を出したり共通の認識を得
るということは行いませんでした。
立場や専門分野が違う人からの視
点・意見は自らの「気づき」にな
ります。またネットワークづくり
のきっかけにもなります。実際、
過去にはこの交流会を縁に研修会
の講師依頼や新たな事業を一緒に
始めるなどのネットワーク形成の
一端となっています。

交流が主目的という観点からは、
ある程度は目的が達成されたと思
います。しかし時間不足で「これ
からなのに・」だったかもしれ
ません。細かい議論は今後、きよ



う新しく築かれた
ネットワークを駆
使して場を変えて
やっていただけれ
ば、事務局として
は嬉しい限りです。
各参加者のこれか
らの積極的な取組
に期待します。



〈会場の様子〉
研究テーマごとに
テーブルで分かれ
て自由闊達に議論
しました。

2014年3月19日(水) 20時25分〜21時 キャンパスプラザ京都